みんぱく Information

特別展
「夷酋列像 ―蝦夷地イメージをめぐる 人・物・世界―」

「夷酋列像」は、1789年「クナシリ・メナシの戦い」で松前藩に協力したアイヌの有力者12人を描いた肖像画です。

本展示では、「夷酋列像」を近世絵画史のなかでとらえるとともに、18世紀におけるアイヌの事情やアイヌ文化の背景に隠された中国やロシアを含めた北東アジアと蝦夷地の知られざる歴史・文化を明らかにします。

《夷酋列像》イコトイ（フランス ブザンソン美術考古博物館蔵）

会期　5月10日(火)まで
会場　特別展示館

みんぱくミュージアムパートナーズ
「点字体験ワークショップ」
日時　4月9日(土) 12時～15時30分
会場　本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

みんぱく春の遠足・校外学習事前見学&ガイダンス
春の遠足・校外学習にむけて、事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。学習に役立つツールの紹介や、見学に関するさまざまなご相談もお受けいたします。
日時　4月7日(木)、4月8日(金)
　　14時～16時30分（13時30分～16時受付）
会場　本館第5セミナー室ほか
お問い合わせ先
ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。
企画課　博物館事業係
電話　06・6878・8210

研究公演
「黒森神楽×雄勝法印神楽 in みんぱく公演」
岩手県の黒森神楽、宮城県の雄勝法印神楽の公演と、震災以前から現在にかけて両神楽の調査をおこなってきた研究者と神楽師によるパネルディスカッションを実施し、地域文化の重要性とその継承のあり方について考えます。
日時　5月29日(日) 13時～16時
　　(12時30分開場)
会場　本館講堂
締切　5月11日(水)まで
※要事前申込、要展示観覧券

カレッジシアター
「地球探究紀行」
みんぱく教員が執筆した臨川書店発行「フィールドワーク選書」を中心にお話しします。
時間　13時～14時30分
会場　あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※事前申込（参加状況により当日受付あり）、参加費各回1000円（定員各回50名）
共催　産経新聞社、近鉄文化サロン、スペース9
特別協力　国立民族学博物館、千里文化財団

4月13日(水)
身をもって知る技法――マダガスカルの漁師に学ぶ
講師　飯田卓（本館 准教授）

4月27日(水)
インド染織の現場――つくり手たちに学ぶ
講師　上羽陽子（本館 准教授）
お申込み・お問い合わせ先
ウェーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087

連続講座
「みんぱく×ナレッジキャピタル――世界の『台所』」
好評につき大阪・梅田のナレッジキャピタルで第4弾を開催！
時間　19時～20時30分
会場　グランフロント大阪北館1階
　　ナレッジキャピタル「カフェラボ」
※要事前申込、参加費500円（1ドリンク付き）、定員各回50名
主催　国立民族学博物館
　　一般社団法人ナレッジキャピタル

5月11日(水)
マダガスカルの食と調理
講師　飯田卓（本館 准教授）

5月25日(水)
南アジアの食と調理
講師　南真木人（本館 准教授）
お申込み・お問い合わせ先
一般社団法人ナレッジキャピタル
06・6372・6530

●中央・北アジア及びアイヌの文化展示オープンの延期と本館展示場の一部閉鎖について
2016年3月17日(木)に予定しておりました本館展示「中央・北アジア」及び「アイヌの文化」展示のオープンについて、3月3日(木)に発生した失火の消火の際に使用した消火器の薬剤の微細粉末の除去のため、2016年6月16日(木)に延期いたします。
あわせて、本館展示場の一部(朝鮮半島の文化、中国地域の文化、中央・北アジア、アイヌの文化、日本の文化展示)を6月15日(水)まで閉鎖いたします。

●みんぱくシャトルバスのご案内
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんぱくの間の直通送迎バスを期間限定で運行します。
運行日　5月10日(火)まで
　　1日11往復、所要時間10分、無料
　　休館日は運休します。
※万博記念公園でイベント開催の場合は臨時に運休することがあります。

●無料観覧日
5月5日(祝・木)は、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園(有料区域)を通行される場合は、入園料が必要です。

●みんぱくミュージアムパートナーズ（MMP）新規メンバー募集
みんぱくミュージアムパートナーズは、みんぱくの博物館活動をサポートするため自主的な企画を運営するボランティアグループです。この度9月から活動する新しい仲間を募集します。定員に達し次第、受付終了です。
応募期間　4月11日(月)～4月25日(月)
お問い合わせ先
みんぱくミュージアムパートナーズ事務局
平成28年度新規募集係（本館 社会連携室内）
Email　mmp-jimukyoku@idc.minpaku.ac.jp
※みんぱくホームページで詳細を確認の上、ご応募ください。

みんぱくゼミナール

時間　13時30分～15時（13時開場）
会場　本館講堂　定員　450名(当日先着順)
参加費　無料（展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です）

第455回　4月16日(土)
夷酋列像を考える
講師　右代啓視（北海道博物館 学芸主幹）
　　内田順子（国立歴史民俗博物館 准教授）
　　日髙真吾（本館 准教授）

《夷酋列像》ツキノエ（フランス ブザンソン美術考古博物館蔵）

特別展「夷酋列像―蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界―」の概要と、夷酋列像が描かれるきっかけとなったクナシリ・メナシの戦い、フランスにおけるアイヌ文化の関心について実行委員メンバーがリレー形式で紹介し、夷酋列像の歴史的、文化的な意義について考える。

みんぱくウィークエンド・サロン
研究者と話そう

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域（国）の最新情報」「みんぱくの展示資料」について分かりやすくお話します。4月からテーマによって実施時間が30～60分になりました。

4月3日(日) 14時30分～15時　アフリカ展示場
「アフリカ的」布はどこから来たか
話者　三島禎子（本館 准教授）

4月10日(日) 14時30分～15時　ナビひろば
スイスにおける高齢者のウェルビーイングと地域の癒し文化
話者　鈴木七美（本館 教授）

4月17日(日) 14時30分～15時　ナビひろば
兵士の写真は語りかける
――第二次エチオピア戦争のイタリア兵
話者　川瀬慈（本館 助教）

4月24日(日) 14時30分～15時30分　特別展示館
夷酋列像をめぐる旅
話者　日髙真吾（本館 准教授）

※申込不要、参加無料（要展示観覧券）

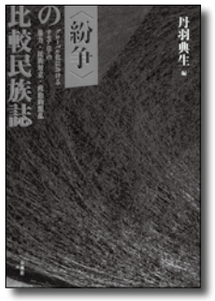
※各イベントについてくわしくはみんぱくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時（土日祝を除く）です。

刊行物紹介

■橋本裕之、林勲男 編
『災害文化の継承と創造』
臨川書店　4,300円（税抜）

災害からの復興過程において、地域文化はどのような役割を果たしてきたのか。東日本大震災発生から5年――「防災文化」に特化しがちであった災害にかかわる従来の文化研究の視野を拡張し、「災害文化」に対する新しい視座を提供する。17名の執筆者による、災害被災地での実践の試み。国立民族学博物館共同研究の成果を書籍化。

■丹羽典生 編
『〈紛争〉の比較民族誌――グローバル化におけるオセアニアの暴力・民族対立・政治的混乱』
春風社　3,700円（税抜）



平和的な南太平洋という神話は、いつ、なぜ、崩壊したのか。サモア、トンガ、フィジー、パプアニューギニア、ニュージーランドなど、オセアニアの政治的変動・諸問題を、詳細な事例研究により鋭く分析・考察。局所的に発現する身体的暴力から国際的な介入まで、争いを広く包括的にとらえてオセアニアの〈紛争〉に迫る。

友の会

国立民族学博物館友の会　電話 06-6877-8893（9時～17時、土日祝を除く） FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会（大阪）
会場　本館第5セミナー室（定員96名）
※当日先着順、会員無料（会員証提示）、一般500円

第454回　5月7日(土) 13時30分～15時30分
【第87回民族学研修の旅関連】
国境の地に生きる――フィンランド・カレリアとエストニア・セトゥの人びと
講師　庄司博史（本館 名誉教授）
フィンランド東部・カレリア地方とエストニア東南部・セトゥ地方にはともに国境によりロシア側と分断された人びとが住んでいます。双方ともロシアの長い支配下にあったため民俗文化や宗教にはロシアの強い影響を残す一方、辺境の地であったことからそれぞれの国ではすでに失われた文化も多く保持してきました。本講演では、今日、過疎化と多数派への同化の波のなかで地域にとどまり、伝統文化を守ろうとする人びとの姿を追います。
●講義終了後、講師を囲んで懇談会を実施します。

第455回　6月4日(土) 13時30分～15時30分
シンドバード航海記の成立の謎を追って
講師　西尾哲夫（本館 教授）
●講義終了後、講師を囲んで懇談会を実施します。

東京講演会
会場　モンベル渋谷店5Fサロン
定員　60名（要事前申込、会員無料・一般500円）

第115回　4月23日(土) 13時30分～15時30分
【第87回民族学研修の旅関連】
国境の地に生きる――フィンランド・カレリアとエストニア・セトゥの人びと
講師　庄司博史（本館 名誉教授）

第87回民族学研修の旅
フィンランドとエストニアの原風景に出会う
――森の恵みと唄を愛する人びとを訪ねて
8月1日(月)～8月9日(火)
両国の主要都市とともに、北カレリア地方(フィンランド)とセトゥ地方(エストニア)を訪ねます。セトゥ王国祭や各地の野外博物館を見学するほか、森を散策する時間もご用意しました。